

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2015
平成27年

9.15

分かち合いたい!
豊穣の歓び

目次

「しみんの広場」 2

広報サポーターだより

「ジュニア・キッズサーフィンスクール」

ポイントカード「たまぼ」誕生

今月の花「レイコのコレイいね」

地域の話題

スクールレポート
学校生活の一コマを紹介 6

たはらシティニュース 7

連載コーナー 8

おしらせ 10

歴史探訪クラブ 12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- たまほカード・今月の花……………3ページ
- 地域の話(野田校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

ジュニア・キッズサーフィンスクール



広報サポーター 近藤洋介

市内の学生を対象に開催された、ジュニア・キッズサーフィンスクール。スタッフが一对一で丁寧に教えてくれる大人気の教室を取材してきました。



●砂浜でボードに立つ練習をしました



●実際に海に入り、波乗りにチャレンジ!

7月19日(日)、赤羽根西海岸(ロコポイント)で、ジュニア・キッズサーフィンスクールが開催されました。毎年夏休みに、田原市サーフィン協会が主体となり開催されており、今回は、昨年は3倍近く上回る50人以上の応募があり、多くの子どもたちが波と

一体となり、楽しそうにサーフィンやボディボードを体験しました。

まずはじめに砂浜にて海での注意事項を聞き、準備運動や立つ練習を行いました。その後、海にて田原市出身プロサーファーやスタッフが一对一で波に乗って立ち上がる練習を指導しました。

転んでも痛くないスポンジボードで練習を重ねると、サーフボードの上で、笑顔でピースができるまで上達する子どもいました。ボードに立ち上がり滑っている姿に家族やスタッフから大きな拍手が送られていました。ボディボードを体験した子どもたちもすぐに波に慣れ、楽しそうに波に押されていました。

休憩時間は砂浜で砂遊びをする姿も見られ、海を満喫していました。

帰り際「またやりたい、次はいつあるの?」と、スタッフに尋ねる子どもたちがたくさんおり、とても楽しんでく



●ボードに立てたよ!



●休憩中は砂遊び



●最後に集合写真を撮りました

れたようでした。

サーフィンを通じて海とふれあい、自然の楽しみを知り、自然の大切さ、感謝する心が芽生えたことと思います。このサーフィンスクールがこれからも続き、多くの子どもたちに海の楽しさが伝わっていくことを願います。

▼田原サーフィンスクール事務局 (フォアードサーフ)

☎45局4190

「たまぽ」誕生

田原の新しいお買物ポイントカード

投稿 田原カード事業協同組合・渥美カード事業協同組合

市内全域の加盟店で使えるポイントカード「たまぽ」をご紹介します。

「たまぽ」は、「たまるカード」と「まりんカード」の加盟店が一丸となって、にぎわいを取り戻そうと、市と一緒に、2年前から準備を進めてきました。事業を通じて市内の商店主同士のつながりができ、新たな取り組みとして行政ポイントを貯めるなどの特徴もできました。

今後も皆さんに愛されるカードとなるよう、市と一緒に、お客様に「おもてなし」をしていきたいと思えます。

◆たまぽカードの特徴

- 100円のお買物で1ポイントが貯まる（一部例外あり）。貯めたポイントはいつでもお買物やイベントで利用できる。
- 市内全域、約140店舗の加盟店で使える。
- 市が行う事業（対象事業）に参加することで行政ポイントがもらえる。

（平成28年4月1日以降開始予定）
※行政ポイント・・・健康づくり事業などの対象事業に参加することでポ



▲渥美カード事業協同組合小久保代表理事（左）、受賞された皆さん（中央3名）、田原カード事業協同組合鈴木代表理事（右）554通の応募の中から3名の方が採用されました。

☎ 33局1411

▼渥美カード事業協同組合

☎ 22局6309

▼田原カード事業協同組合

※旧カードは、平成28年2月29日までお買物券としてご利用いただけます。詳しくは、お問い合わせください。

ポイントが貯まります。



たまぽカード 入会キャンペーン

10月25日(日)～11月30日(月)
豪華賞品が当たるかも！ぜひこの期間にご入会ください。

今月の花

「イコ」の「コ」は「いね」

▶農政課 ☎23局3517

◎長寿を祈って



9月21日は「敬老の日」です。敬老の日は日本独自の祝日で、長年にわたり社会に尽くしてきた方を敬愛し、長寿を祝う日となっています。

今年の敬老の日には、お花を贈られてはいかがでしょうか。

9月20日(日)にサンテパルクたはらで「寄せ植え教室」を行います。手作りの品をプレゼントすれば、おじいさん、おばあさんも必ず喜んでくれますよ。当日は、「輝きネット・あいちの技術人」に認定されている「輝きネット・あつみ」の皆さんが寄せ植えを教えてください。ぜひ、参加してみたいはいかがでしょうか。



9月の 渥美半島の花と鉢花



グロリオサ

(花/出荷時期:通年)

花ことば

栄光、頑強、勇敢

鮮やかな花色と、花びらが特徴的な花で、県内1位の生産量、約86万本が出荷されています。



コスモス

(鉢花/出荷時期:9月～10月)

花ことば

乙女の真心

秋の訪れを告げる花で、約14万鉢出荷されています。



▲簡単なルールで、とても盛り上がったペタンク



▲チームプレーがカギとなるキンボールスポーツ

地域の話題

野田校区

和・輪・環でまちづくりを！

「和」が広がって「輪」。さらに立体的に広がり「環」となり大調和。「わ、わ、わ」と笑い声が絶えない、明るく住みよいまちを目指している野田校区「コミュニティ協議会から」お便りが届きました。

地域発!

今年も白熱したスポーツ大会

5月31日(日)、「第27回野田校区スポーツ大会」を開催しました。

今年で27年目を迎えたこの大会。共に汗を流してスポーツの楽しさを知り、健康と体力づくりの共通の場を設けながら、地域住民の交流と親睦を深めるため、毎年実施しています。

大会には、校区民が地区単位にチームを作つて参加。全13地区から老若男女1770名が、おなじみの「グラウンドゴルフ」「ゲートボール」、ニュースポーツの「キンボールスポーツ」「ペタンク」、また、今大会から野田風にアレンジした「玉入れ」の計5種目で心地よい汗を流しました。

天候にも恵まれたこの日。いつもは顔見知りの校区民も試合が始まると

真剣に競技を始め、どの試合も白熱したものとなりました。

会場は笑顔と歓声に包まれ、大いに盛り上がりました。

自分たちの手で地域づくり

「野田スポーツ大会」は、野田校区の13名の田原市地域スポーツ普及員(市教育委員会から委嘱)が中心となつて大会運営をしています。

地域づくりは、行政と連携が必要がありますが、人と人とのつながり、人材育成などは地



▲大会運営の中心を担った田原市地域スポーツ普及員

野田校区は、人の結びつきが強い校区と感じています。「野田スポーツ大会」など各種行事により、地域の「わ」がより強く確かなものとなるよう、また、魅力ある地域づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



参加者のコメント

◆グラウンドゴルフに参加。お互い声をかけ盛り上がりました。結果は残念でしたが、みんなの笑顔が最高でした。何よりも、打ち上げが最高でした。

◆キンボールに参加。何回も経験していましたが、いい運動になります。スポーツを通して、いろいろな世代の人と交流できるいい機会です。地域の輪が広がった気がしました。

◆ゲートボールに参加。他地区の人の元気な様子を見ることや一緒に競技することができてうれしかったです。



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

渥美半島の里海を美しくする会

自然の美しさに触れ、渥美半島を考える

「汐川を美しくする会」として川から海への清掃活動を始めて今年で7年目。台風が来ると田原の海岸線は、三河湾や伊勢湾から漂着するごみや流木であふれかえります。渥美半島に住む私たちが自分たちのまちをきれいにすることは当然のことです。

「海洋生物が住みやすい環境づくり」「漁師が安心して漁業ができる三河湾」「観光に訪れる人が自然の美しさに触れることができる渥美半島づくり」をしていくために、毎年1回渥美半島の海岸線の清掃活動を行っています。清掃後には、おいしい豚汁も提供します。私たちのまちをきれいにするために、一緒に清掃活動を行いませんか。

第7回里海ビーチクリーン

日時：10 / 3 土 ・ 4 日 いずれも 9:00～10:30

集合／清掃場所：

10 / 3 土 = ココナツビーチ伊良湖 / ココナツビーチ伊良湖・恋路ヶ浜

10 / 4 日 = 白谷海浜公園・山ノ神海岸・宇津江海岸 / 白谷海岸～高木海岸

主催：渥美半島の里海を美しくする会（代表 沓名智彦）

▶ 渥美半島の里海を美しくする会事務局（鈴木裕） ☎ 090-2131-4352



▲ イベントの様子

市民活動情報

市民活動団体登録制度導入に関する意見交換会 メンバー募集！

あなたも一緒に考えませんか？

田原市民活動支援センターでは、市民の方と行政の協働のまちづくりを推進するため、担い手となる市民活動団体の情報を登録する「市民活動団体登録制度の導入」を検討しています。これにより、情報提供や情報交換などを一層充実させようと考えています。

制度の導入にあたり、市民活動団体さんの意見を反映させるため、意見交換会に参加していただけるメンバーを募集します。

あなたも一緒に、制度導入の可否、登録団体への支援策・支援内容を考えてみませんか。

- **対象** 田原市内で活動する市民活動団体に所属している方
- **期日** 10月～11月末の期間 / 3回程度開催
- **定員** 8名(応募多数の場合は抽選)
- **申し込み** 10月9日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は氏名・所属団体・連絡先[電話番号・メールアドレスなど]を明記)

▶ 市民協働課 ☎ 23局3504 FAX 23局0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111 (内線 812) ※開設時間のみ

FAX 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。



スクールレポート

SCHOOL REPORT 84

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「なかよし班活動」と中学校での「職場体験学習」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

赤羽根小学校 「なかよし班活動」 なかよし「あかはにっ子」

赤羽根小学校では、なかよし班（縦割り班）を中心に、異学年交流が盛んです。4月の行事「あかはに探検隊」では、なかよし班ごとに地域のさまざまな名所を探検しました。1年生の手を取り「がんばって歩こうね」と声をかけている高学年の優しい姿が見られました。赤羽根運動公園での昼食の後は、班ごとにレクリエーションを楽しみました。「しっぽとり」をしている班では、1年生が高学年を追い回すほほえましい姿が見られました。

また、毎月1回、「なかよしタイム」という長い放課に、6年生の企画のもと、なかよし班で遊んでいます。いす取りゲームをしたり、ドッジボールをしたりとさまざまです。宝探しをしていた班では、「ここだったら見つからないかなあ」とつぶやきながら、宝（鉛筆など）を隠している低学年の姿が何ともかわいらしかったです。

優しさと頼もしさをもった高学年。そして、それを心で感じる日々を楽しむ下級生。赤羽根小学校は、「なかよし」という魔法のかかった、すてきな学校です。



▲「あかはに探検隊」の様子



▲なかよし班で遊ぶ児童



▲幼稚園で体験する生徒



▲自動車ディーラーで体験する生徒

東部中学校 「職場体験学習」

働く体験を通して、成長した生徒たち

東部中学校では、6月1日（月）～5日（金）の5日間、62事業所の協力をいただき、職場体験学習を行いました。朝から職場に向かい、一日仕事を終えた生徒たちからは、はじめは緊張のためか疲れた表情が見られました。仕事に慣れていくうちに「楽しい」「おもしろい」といった感想が聞かれるようになりました。

職場体験学習を終えた生徒の感想の中には、「働くのは、自分のためやお金のためだけでなく、お客様や他の人の喜びや笑顔のためだとわかりました」「あいさつや周りを見て行動することの大切さを学ぶことができました」「親が自分のために働いてくれる苦労とありがたさがわかりました」といった内容が多くありました。

学校では経験できない貴重な体験を通して、生徒の心は大きく成長したようです。中学生にこのような素晴らしい体験の機会を与えてくださいました事業所の皆さまや地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

この体験で学んだことが、今後の生活や学習に活かされていくことを期待しています。



▲【出場メンバー】小久保昌治(指揮者)、河合俊幸(1番員)、河合将司(2番員)、河邊祥宏(3番員)、富田直敬(4番員)、富田尚也(補助員)／敬称略

愛知県消防操法大会が豊川市で行われました。放水までの時間と行動審査で競い合うこの大会。田原市消防団代表として出場した神戸分団の皆さんは、日ごろの訓練の成果を発揮し、ポンプ車操法の部(23市町が出場)において、見事、4位入賞を果たしました。

8月8日(土)

訓練の成果だ！
堂々の4位入賞

ハロー エブリワン
Hello, everyone!!

外国語指導助手(ALT)です。

Assistant
Language
Teacher

私たちは、市内の小・中学校で英語を教えています。また、私たちの国の文化に触れ、子どもたちが国際理解を深めるきっかけにもなっています。

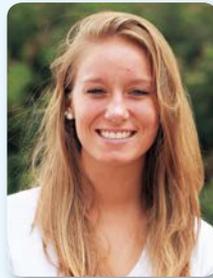
ブリアナ ミルズ
Breanna Mills 先生



はじめまして。アメリカのカリフォルニア州出身の22歳です。田原市の子どもたちが英語を楽しく勉強できるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

▶田原中・神戸小・大草小・童浦小・田原南部小・野田小(平成27年9月～)

マライア テザース
Mariah Tesarz 先生



こんにちは。私はアメリカのミシガン州出身の21歳です。スポーツが大好きです。英語の授業も日本語の勉強も頑張りますので、よろしくお願ひします。

▶赤羽根中・野田中・泉中・田原中部小・衣笠小・赤羽根小・泉小(平成27年9月～)

ティモシー パウエル
Timothy Vowell 先生



アメリカのテネシー州出身の26歳です。趣味はギターを弾くこととスポーツをすることです。田原市で英語を教えることができるとても嬉しいです。

▶東部中・野田中・赤羽根中・泉中・田原東部小・高松小・若戸小・福江小・清田小(平成27年4月～)

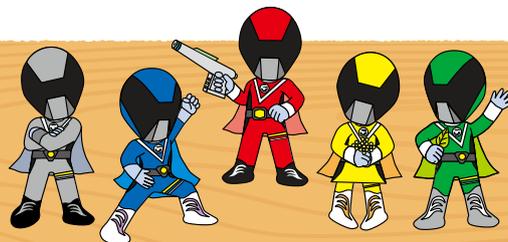
ジェームス ウィルソン
James Wilson 先生



こんにちは。イギリスのニューカッスル出身の26歳です。田原市で英語の授業をすることができてとても幸せです。毎朝、蔵王山に登っています！

▶田原中・伊良湖岬中・福江中・六連小・亀山小・中山小・伊良湖岬小(平成27年4月～)

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん ②



乾燥生ごみの交換事業を始めます！

田 原市のもやせるごみの約4割が生ごみです。その生ごみを減らすために、生ごみを乾燥させ、肥料として使う乾燥生ごみにする取り組みを進めています。10月1日から乾燥生ごみ200g以上でトイレトーパーや田原市指定ごみ袋と交換します。皆さんも、乾燥生ごみを作ってエコでお得な生活をしてみませんか。

▶ 廃棄物対策課 ☎ 23局 3538

● どうやって乾燥生ごみを作るの？ どうしたらトイレトーパーなどと交換できるの？

乾燥生ごみの疑問をリサイクルレンジャーに聞いてみよう。

(ゴ=ゴミゴミン リ=リサイクルレンジャー)

- ゴ 乾燥生ごみって、なんだゴミン？
- リ 電気式生ごみ処理機で処理された生ごみのことだ。



ゴミゴミン

リサイクルレンジャー

- ゴ 電気式生ごみ処理機なんて、持ってないゴミン。
- リ 電気式生ごみ処理機の無料貸出制度があるんだ！ 購入するときの補助金もあるから、廃棄物対策課に行こう！



- ゴ 乾燥生ごみができたけど、どうすればいいゴミン？

- リ 廃棄物対策課に乾燥生ごみを持って行って申込書とアンケートを書けば、トイレトーパーなどと交換してくれるよ。



- ゴ 回収した乾燥生ごみはどうなるゴミン？
- リ 市が管理している沿道の花壇の肥料として使うんだ！

- ゴ おいらも交換してもらおうゴミン！

へえ～



◆申し込みができる人

- ・市内に住所があり、かつ、お住まいの方。

◆交換ができる乾燥生ごみ

- ・家庭から出た生ごみを処理したもの。
- ・処理機で乾燥処理されたもの。
- ・異物や腐敗がないもの。



姉妹都市 ジョージタウン市

提携25周年を迎えたアメリカ・ジョージタウン市をご紹介します

今年、田原市とジョージタウン市は姉妹都市提携25周年を迎えました。これまでに中学生海外交流(派遣・受入)、田原風やキルトを通じた市民交流、ジョージタウン大学からのALT(外国語指導助手)招致など活発な交流が行われ、友好関係を深めてきました。



●交流のきっかけ

街の規模やトヨタ自動車が生産していることなどの共通点があったことから、ジョージタウン市から交流の申し込みがあり、平成2年4月20日に姉妹都市提携調印式が行われました。

●ジョージタウンはこんなところ

ジョージタウン市は、アメリカ中東部にあるケンタッキー



州の北部に位置し、緑豊かな美しい風景と製造業・農業を中心とした街として知られています。この地域は、サラブレッドの牧場地帯として有名で、毎年10月の第1週末にホースフェスティバル(馬の祭典)が開催されます。

また、とうもろこしを主原料とするバーボン・ウイスキーの発祥の地でもあります。

●「思い出の品展」

姉妹都市提携25周年を記念して、9月23日(水)まで、田原市中央図書館でジョージタウン市からのプレゼントや写真など、ジョージタウン市にちなんだ品々を展示しています。ぜひ、お立ち寄りください。



▶政策推進課 ☎ 23局3507

◆「どんなことを放送するの?」
緊急時には、津波警報や火災発生などの放送があります。
通常時は、「こちらは広報たはらです」で始まる放送や、正午や午後5時の定時放送などがあります。

◆「防災行政無線とは?」
災害時の情報伝達手段として整備しており、無線を使って市内全域に放送を流すことができます。バッテリー搭載のため、停電時でも約24時間放送できるようになっています。

◆「市には、のしろちゃん?」
市内には、防災行政無線というスピーカーの付いた無線設備が253カ所に設置されています。今回は、毎日耳にする「防災行政無線」について紹介します。



◆「定時に音楽を流しているのは?」
試験放送です。故障などの不具合を早期発見し、いざというときに流れないことがないように、点検のために放送しています。

◆「放送が聞こえない時は?」
機器の故障などが考えられます。防災対策課へ連絡してください。

◆「注意点」
●市が流している放送以外にも、地区によっては、独自で放送設備を整備して放送を流しているところもあります。
●設置場所によっては、どうしても放送が聞こえにくい地域もあります。無線放送の内容をメール配信するサービス(田原市安心安全ほっとメール)もありますので、市ホームページなどで確認しましょう。

◆「防災対策課 ☎ 23局3548」
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

みんなで取り組む防災・減災

のしろちゃん

防災知恵袋

18

防災行政無線について



募集

WANTED

田原福祉専門学校 学生

田原福祉専門学校では、平成28年度の推薦および一般・社会人入学試験を行います。

- ▼試験種別 ①推薦入学試験 ②一般・社会人入学試験 ▼試験日 ①10月24日(土) ②11月7日(土)
- ▼試験会場 田原福祉専門学校
- ▼出願期間 ①10月1日(木)～15日(木) ②10月20日(火)～29日(木)
- ▼試験内容 推薦は面接、一般・社会人は作文と面接 ▼申し込み 田原福祉専門学校にある所定の出願書

類に必要事項を記入し、入学検定料1万5000円を振り込みのうえ、出願期間内に提出(郵送の場合は当日消印有効) ▼その他 入学試験は、10月から平成28年3月まで計5回実施します。※詳しくはお問い合わせください。

▼田原福祉専門学校
☎22局3939 FAX22局7340

田原市臨時職員(渥美郷土資料館企画展監視員)

- ▼募集人員 7名程度 ▼対象 健康な方 ▼採用期間 10月24日(土)～12月6日(日) ▼勤務内容 展示室監視ほか ▼勤務形態 週4日程度勤務(土・日曜日勤務あり) / 午前9時～午後1時と午後1時～5時の交代勤務 ▼賃金 時給850円 ▼選考方法 面接(詳細は後日通知) ▼申し込み 10月2日(金)までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入のうえ提出/郵送不可

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX22局2028

パパママ普通救命講習会 受講者

乳幼児の親を対象とした乳児・小

児の心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の取り扱い、異物除去法などを学ぶ普通救命講習会を開催します。

▼対象 市内在住・在勤・在学の方 ▼日時 10月26日(月) 午前9時～正午 ▼場所 赤羽根福祉センター会議室 ▼定員 20名(先着順)

▼受講料 無料 ▼申し込み 10月12日(月)までに直接または電話・FAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は、住所・氏名「ふりがな」・生年月日・性別・電話番号・職業・託児の有無を明記)

▼その他 講習修了者に修了証を交付/たはら健康マイレージ対象

▼消防署赤羽根分署
☎45局4119 FAX45局4120
✉akabaneb@city.tahara.aichi.jp

秋の汐川干潟自然観察会 参加者

▼日時 10月11日(日) 午前10時～正午 ※雨天中止 ▼場所 汐川干潟(豊橋市杉山町) ▼定員 50名(先着順) ※中学生以下は保護者同伴 ▼参加料 無料 ▼持ち物 長靴、スコップ、タオル、帽子、飲み物、筆記用具 ▼申し込み 9月30日(水)までに電話またはFAX・Eメール

▼環境政策課
☎441-3492 住所不要
☎23局3541 FAX23局0180
✉kankyo@city.tahara.aichi.jp

犬のしつけ方教室 愛犬と一緒に参加しませんか

▼対象 犬の登録と狂犬病予防注射・混合ワクチン接種を実施済みで、その犬を制御できる飼い主とその犬 ▼日時 10月24日(土) 午前10時～正午 ▼場所 サンテパルクたはら ▼内容 初歩的な犬のしつけ方教室 ▼参加料 無料 ▼定員 5組(申込者多数の場合は抽選) ▼申し込み 10月9日(金)までに電話にて / 平日の午前10時～午後5時 ▼その他 申し込みの際に、愛犬手帳、ワクチン接種証明書などを用意してください。

▼愛知県動物保護管理センター東三河支所
☎(0532)33局3777



生活

愛知県防災ヘリコプター 夜間離着陸訓練

愛知県防災航空隊と田原市消防署が合同で防災ヘリコプターの夜間離着陸訓練を行います。



訓練中は騒音が発生するのと同時に、訓練会場への立ち入り制限を行いますのでご協力をお願いします。なお、午後5時から30分間は訓練会場に防災ヘリコプターが着陸している予定ですので、近くでヘリコプターを見ることができません。

▼日時 10月9日(金) 午後3時～7時頃

▼場所 白谷海浜公園芝生広場周辺

▼その他 雨天・荒天の場合は中止します。

▼消防署
☎23局4075 FAX23局2440

秋の安全なまちづくり県民運動

10月11日(日)～20日(火)

スポーツ、行楽に最適なシーズン

を迎え、また子どもたちにとっても、学習や部活動に打ち込むことができ、充実した季節となりました。

しかし、日暮れが早くなり、暗くなり始めた時間帯は、犯罪が起きやすいときでもあります。子どもや女性が犯罪被害に遭わないよう、地域で目を光らせみんなで見守っていきましょう。

◆運動の重点

- ・住宅を対象とした侵入盗の防止
- ・年間取り組み事項
- ・特殊詐欺の被害防止
- ・自動車盗の防止
- ・子どもと女性の犯罪被害防止

10月11日(日)は、防犯に対する意識と理解を深める「安全・安心なまちづくりの日」です。

▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

第10回まちなか市民音楽祭



▲「はんにゃ」の金田哲さんは田原市ふるさと大使です

さまざまな分野の生の音楽が堪能できます。まちなかの賑わいを創出する「まちなか市民音楽祭」にぜひお越しください。また、今回は第10回を記念して、お笑い芸人「はんにゃ」がゲスト出演します。

▼日時 10月10日(土) 午前11時～午後7時

▼場所 セントファール東側中央広場(田原市田原町萱町)

※雨天時はセントファールセンターコート、荒天時は中止

▼主催 まちなか賑わいづくり実行委員会

▼(株)あつまるタウン田原(セントファール3階)

☎24局2345 FAX24局2346

☎http://www.tahara-tno.com/

法の日記念事業 無料相談 弁護士・司法書士・税理士

【弁護士相談】▼日時/場所 10月3日(土) 正午～午後2時/豊橋商工会議所5階

▼定員 20名(先着順)

▼申し込み 9月25日までに電話にて

▼その他 記念講演会(講師 大谷昭宏氏)あり/詳しくは、お問い合わせください。

▼愛知県弁護士会東三河支部
☎(0532)52局5946

【税理士・司法書士相談】▼日時/場所 10月3日(土) 午前10時～午後

1時/田原福祉センター相談室1・3

▼内容 登記・相続・遺言・税務・民事および家庭裁判所の手続きに関すること

▼申し込み 事前に電話または当日会場にて(先着順)

▼愛知県司法書士会東三河総合相談センター

☎(0532)54局5665

【法務局休日相談】▼日時/場所 10月4日(日) 午前10時～午後4時/名古屋法務局・岡崎市シビックセンター

▼内容 法務局業務(登記、人権擁護など)、遺言などの公正証書、法律相談、心配事などに関すること

▼申し込み 事前に電話予約または当日会場にて

▼名古屋法務局民事行政調査官室
☎(052)952局8170

在宅医療サポートセンター ができました

田原市医師会は、渥美病院地域連携室に在宅医療サポートセンターを設置しました。

市民の皆さんの在宅医療に関する相談窓口です。お気軽にお越しください。電話相談も行っています。

▼在宅医療サポートセンター(渥美病院地域連携室内)

☎22局0311

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

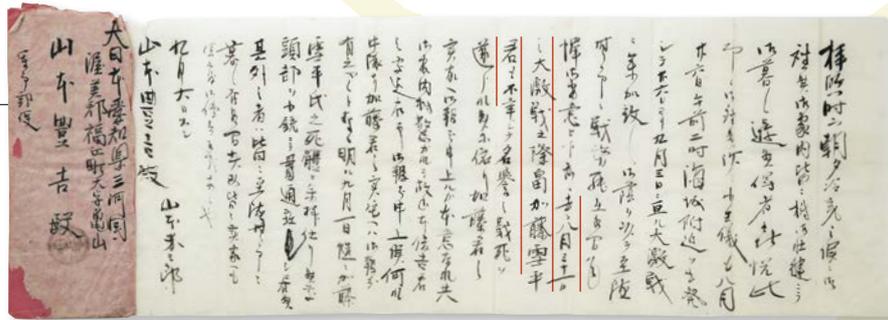


其の 167

文化生涯学習課 ☎ 22局 1720 (博物館) FAX 22局 2028

田山花袋の伊良湖来訪

明治31年(1898)の夏、柳田國男が伊良湖に滞在。恋路ヶ浜で流れ寄るヤシの実を見つけ、島崎藤村の叙情詩「椰子の実」誕生のきっかけをつくったというお話は有名ですね。しかし、柳田國男の後を追いかけて伊良湖を訪れ、柳田と一緒に伊良湖を離れた小説家、田山花袋について知る人は少ないように思います。田山花袋は、明治4年(1871)に現在の群馬県館林市に生まれ、本名は録彌。明治・大正の文学を代表する作



●戦場からのたより 山本米三郎書簡(明治37年[1904]9月6日) 【渥美郷土資料館蔵】 ※加藤雪平氏の戦死を知らせる手紙

家のひとりとして広く知られた人物です。そんな花袋が伊良湖を訪れるきっかけとなったのは、柳田と共通の友人であった福江出身の挿絵画家宮川春汀の存在があったからです。花袋の紀行文『伊良湖半島』によると、花袋の伊良湖来訪は明治31年8月28日。豊橋駅から徒歩で、田原の風景や春汀の生家などを眺めながら逗留先の伊良湖へと足早に向かい、夕刻には、恋路ヶ浜で伊良湖の風景を堪能しました。この時、柳田は太田玉茗(こちからも共通の友人)を伊勢へ送るために福江の港まで行っており、不在でした。翌日、花袋は神島へ。その後続いた悪天候が9月3日によく回復すると、柳田とともに小中山の立馬崎

から伊良湖の古山を回り、夜には恋路ヶ浜の辺りを巡っています。そして、その翌日には伊良湖を後に福江港から知多半島の亀崎へと向かいました。花袋と柳田は、伊良湖滞在の記録を紀行文『伊良湖半島』『遊海鳥記』として残しています。文章を読み比べると、花袋の方が伊良湖への思いをより強く持っていたように感じます。ほかにも二人の作品の中には、伊良湖がたびたび登場します。花袋は伊良湖岬村出身の加藤雪平(文中では「三河国渥美郡福江村加藤平作」)を主人公とした「一兵卒」という小説を明治41年(1908)に発表。歩兵十八連隊として日露戦争に出征した雪平が戦場で戦死するまでの様子を描き、花袋もこの戦争に写真班として従軍し、二人は海城兵站病院で面会したとされています。柳田はその生涯で一度しか伊良湖を訪れていませんが、花袋は二度訪れています。二回目の来訪は、大正10年(1921)1月7日で、長男・次男を連れての旅でした。福江の旅舎から妻あてに出されたはがきには、自動車にて懐かしい伊良湖岬を周遊し、堀切の常光寺に立ち寄り、翌日には知

多半島に渡る予定ということが書かれています。また、花袋の『伊良湖の石門』(田山花袋記念館蔵)には、「角上という旅舎に行った。これも矢張昔のままだ。柳田君や太田君とやって来た時の室―その同じ室で子供達と鱈の刺身で午飯を食った。その室の長押にかかっている。蜀山人の横額も、曾て柳田君と一緒に読んで見た事のあることなどを段々思ひ起した。」とあり、前回(明治31年)は、柳田・太田とともに角上旅館に滞在していたことがわかります。皆さんも、田山花袋や柳田國男が地元について記述した文章を一度読まれてみてはいかがでしょうか。(天野)

今月の「表紙」

米づくりが始まった古代からこれまで、あまたの人々が待ちわびた収穫の時期。灼熱の暑さや風雨を乗り越え、誇らしげに頭を垂れる稲穂。夕日に染まり、黄金色がさらに輝きを増したその姿を見て、秋の訪れを実感しました。(H)

【表紙の写真】収穫を待つ稲穂(野田町)